



こんにちは。山田花子です。今回は経理処理のまとめである決算作業について、改めて確認していきまいた。今回は決算作業での確認事項を終え、決算書と税務申告書を作成したいと思います。

## ◆決算書と税務申告書を作成する

前回までで確認したような確認事項を終え、次は決算書と税務申告書の作成に進みます。

まずは消費税の申告書作成です。一年間の取引を通じて預かった消費税と支払った消費税を確認し、その差額を納税します。その計算方法は色々と検討事項があり、また中小企業向けの特例も用意されているため、詳しく検討する必要があります。

消費税の申告書を作ると、法人税や地方税の申告書作成です。一年間で計上された利益を基に、課税される金額を計算していきます。この計算にも様々な特例が存在し、有利な規定の適用漏れをおこさないように、念入りな確認が必要です。

最終的に作成された税務申告の内容を組み込んだ決算書を作成します。

決算書は貸借対照表、損益計算書を中心として、それ以外に株主資本等変動計算書、販売費および一般管理費の明細、製造原価報告書、注記表などを作成する必要があります。

作成された決算書と申告書は一つのセットとして税務署に提出します。また地方税の申告書は法人の所在する都道府県、市町村の役所に提出をします。そして、申告作業により計算された納税額を定められた期限までに納税しなければなりません。

決算作業は、日常的な取引をしっかりと記録していることの延長戦上にあるため、普段の取引について適宜、適切に処理をしていたのが正しい決算処理を行う上での大切なポイントとなります。そして決算時における重要ポイントを容易に確認できるようなシステムを構築し、継続的に利用していくことがとても大切です。

## ◆作成した決算書の活用方法

主に税務申告で活用される決算書ですが、その利用価値はそれだけではありません。内容がしっかりとした決算であれば、金融機関から融資を受ける際にも良い印象を与えることができます。そして、何よりも経営者が今後の経営方針を決めていくにあたり、もっとも役立つのが決算書です。決算書の数値を読み取り、自社の目標と課題を確認し、これから進むべき方向を検討するために決算書を活用するとよいでしょう。

## ◆PLAN・DO・SEE 経営とは

使い古された言葉ながら、実行している企業はそんなに多くないのが現状です。自社の経営計画表を作成し、1年が終了し、決算の終了後には決算報告会を行って、1年を振り返ることは、当然のことといえます。

ぜひとも、次ページの表のような計画的な経営をすべての企業、事業主の方に実施していただきたいものです。

弊事務所では、月次契約の顧問先様に対して、単年度の経営計画と事業報告につき毎年サポートをさせていただきます。

【PLAN・DO・SEE 経営とは】

